

事務事業評価資料

施策名	鉄道の安全性確保・利便性向上		所管部局課名	県土整備部県土企画局交通政策課					
事業名	第三セクター鉄道安全性向上対策助成		担当者電話番号	計画担当 078-362-3884					
事業目的	第三セクター鉄道事業者の実施する安全性向上対策を支援し、鉄道の保安度の向上を図る。経営状況が厳しい事業者を支援し、鉄道利用者の安全輸送を確保する。								
事業内容	第三セクター鉄道事業者が行う安全性向上対策に要する経費の一部を支援 対象者：経常損失が生じており、国が採択する鉄道軌道輸送高度化事業を活用している第三セクター鉄道事業者 対象経費：列車運行上の安全性向上に寄与する設備更新・改良等経費 補助限度額：10,000千円（H19まで11,000千円）			事業開始年度	平成15年度				
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額			
	事業費	(11,000千円) 11,000千円		(9,900千円) 9,900千円		(10,000千円) 10,000千円			
	人件費	1,783千円	従事人員 0.2人	1,694千円	従事人員 0.2人	1,672千円 従事人員 0.2人			
	総コスト (+)	12,783千円	従事人員 0.2人	11,594千円	従事人員 0.2人	11,672千円 従事人員 0.2人			
事業の目標	責任事故を発生させない安全運行の実施			[目標設定理由] 鉄道運行の安全性を確保するため、運転責任による事故を発生させないことが重要であるため。					
	安全性向上による利用者数の維持			[目標設定理由] 安全運行の結果として、利用者が安心して利用できる環境を提供できるため。					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H19	H20	H21
	責任事故件数	0件	-	0件 (12,783千円)	0件 (11,594千円)	0件 (11,672千円)	100.0%	100.0%	100.0%
年間総輸送人員	2,047千人/年	23年度	1,972千人 (7円)	2,029千人 (6円)	2,035千人 (6円)	96.3%	99.1%	99.4%	
評価結果	必要性	・京阪神と京都府北部・但馬地域を結ぶ広域都市間交通路線として、また、通勤・通学等の沿線地域の日常生活を支える地域の足として、その運行の安全性を確保する必要がある。							
	有効性	・鉄道施設の老朽化が進行する中で、安全性向上のための設備改良等を支援することにより、鉄道事業者の責任による無事故運行を維持することができ、着実に成果があがっている。 ・安全運行の結果、年間総輸送人員が増加していることから、着実に成果があがっている。							
	効率性	・安全運行の結果、年間総輸送人員が増加し、輸送人員1人あたりのコストが低下しているため、効率的な事業執行が行われている。							
	民間・市町との役割分担	・沿線市等の支援にあわせ、第三セクター鉄道事業者が実施する安全性向上対策に対して助成している。 ・第三セクター鉄道事業者の経営環境は厳しく、燃料費の高騰等が与える影響も大きいことから、安全運行を維持するため、鉄道事業者に対して抜本的な経営改善の見直しを要請している。							
	受益と負担の適正化								
実施方針	方向性	新規 廃止	拡充 縮小	継続 統合	凍結(休止)	実施手法の見直し 延長	終期設定		
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他	
説明	H18年度からH20年度まで第三セクター鉄道事業者が実施する安全性向上対策に対して助成してきたが、H21年度から助成上限額を見直したうえで引き続き安全性向上対策に対し支援を行う。 第三セクター鉄道事業者の経営環境や沿線地域の交通状況の変化も勘案する必要があることから、23年度までの3年間の事業として継続する。								